

「神戸市下水道事業経営計画（案）」に対する

市民意見と神戸市の考え方

1. 募集期間

令和元年 12 月 2 日（月）～令和 2 年 1 月 10 日（金）

2. 意見件数

6 通 10 件

3. 意見の概要と神戸市の考え方

※ご意見の内容は趣旨を損なわない程度に要約しています。

意見の概要		意見に対する市の考え方
事業について		
1	豪雨などの災害によって下水処理場が被害を受けないよう計画的に建替や補修などを行ってほしい。	本市では、これまで計画的に下水処理場の改築を進めてきました。今後も引き続き、下水処理場を計画的に改築更新を行い、処理場が被害を受けることの無いよう努めます。
2	台風の大型化により、各地で川が氾濫して水害が起きているが、本市では大きな水害が起らないよう浸水対策をとってほしい。	本市では、大きな水害が起らないように、雨水管きょやポンプ場などを計画的に整備しています。 引き続き、本計画に基づいて、浸水対策を行っていきます。
財政について		
3	下水道施設の建設時には、後年に出てくる大規模改修の費用も見込んで計画してほしい。	本計画では、将来の改築計画なども踏まえ、財政計画を立てています。
4	将来にわたって安心して下水道が使用できるよう計画通り進め、値上げにならないよう努力してほしい。	引き続き経営改善努力を推し進め、改定後の下水道使用料をできるだけ長く維持できるよう努めていきます。
5	将来に対し不安を抱く人が多い社会で、安定したサービスを守りながら、市民の経済的負担を少なくできるよう、一層経営努力してほしい。	

意見の概要	意見に対する市の考え方
財政について	
6 来年度から値上げされる下水道使用料の今後の料金の見通しはどのようなのか。	令和2年4月に改定する下水道使用料は、令和2年度以降10年間の財政計画をもとに検討しました。財政計画では老朽化した下水道施設の改築更新を計画的に進めるため建設改良費を年間210億円から220億円程度必要と見込んでいます。
7 経営計画に10年以上先の具体的な更新費用は記載されているか。	
8 中長期（30～50年程度）の施設更新費用の見込みを示し、それが現在の料金でまかなえるかを示したらどうか。	下水道使用料の算定期間については、長期にわたって期間を設定することは、変化の激しい社会情勢を考慮すると不確定な状況があるため、財政計画に基づき10年間としました。
9 中長期（30～50年程度）の収支の見通しを今回の経営計画で示すべきである。	本経営計画は、令和2年4月に改定する使用料を反映させた財政計画を踏まえて、安定した下水道サービスを持続的に提供していくための基本方針や目標などを取りまとめた計画であるため、計画期間を10年としています。
10 将来の更新需要や料金の見通しについて示すべきである。	引き続き経営改善努力を推し進め、改定後の下水道使用料を維持できるよう努めていきます。